

令和4年度 地域福祉活動支援事業 ホームページ用報告書

神奈川県社協ホームページに掲載しますので、助成事業の概要を簡潔に記入してください。

※必要事項を記入または☑ 1ページ以内に収まるよう作成

団体名	任意団体かまくらっぷ		
団体の属性	<input type="checkbox"/> セルフヘルプグループ・当事者等		<input checked="" type="checkbox"/> ボランティアグループ等
	<input type="checkbox"/> 市町村社協やそれを構成員とする実行委員会等		
助成区分	<input checked="" type="checkbox"/> 一般助成	<input type="checkbox"/> 協働モデル助成	協働モデル助成 本会提示テーマ
助成事業名	「介護体験から得た情報のバトンとしての福祉ダイヤリー作成と 普及・コミュニティの場作り」事業		
事業の目的	介護初心者、介護をこれから始める現役世代、ヤングケアラーの介護の負担軽減、分散化、情報整理を目的とした福祉ダイヤリー（記録ノート）普及と介護者の孤立を防止するためのコミュニティの作成		
事業概要	<p><u>1. 福祉ダイヤリー改訂版の作成（資料保管用フォルダ付き）・印刷</u></p> <p>① 県内自治体へのアンケート兼ヒアリング実施／3自治体（平塚市、藤沢市、鎌倉市）</p> <p>② 県内の地域包括支援センターへアンケート兼ヒアリング協力依頼／11件</p> <p>③ 市民アンケート兼ヒアリングの実施／56件</p> <p>④ 福祉ダイヤリー改訂版の作成、印刷／80部</p> <p>⑤ 配布用フォルダの購入／80部</p> <p><u>2. 福祉ダイヤリー意見交換兼交流イベントの実施／1.5／2回</u></p> <p>(1) 2月17日（金） 8:30~10:30@ソンベカフェ 参加者3名</p> <p>(2) 3月17日（金） 8:30~10:30@ソンベカフェ 参加者5名</p>		
成果や課題	<p>市町村や福祉事業所へアンケートやヒアリングの協力を依頼したが、コロナ禍のため、断られることが多く、また、自治体によっては説明不足により協力を得られなく、調査が難航した。</p> <p>しかし、団体が出店したイベントにて、湘南エリアに住む介護未経験や介護終了の方と対話しながら携帯アプリを通したオンラインアンケート協力（56件）を実施・活動周知をすることで市民の意見を福祉ダイヤリーに反映することが出来た。</p> <p>福祉ダイヤリー意見交換兼交流イベントの実施については、ヒアリングを実施したことにより、原稿の修正箇所が増えたこと、また、年始にスタッフの家族が病気・ケガによる急な介護支援が必要となったため、人不足により、当初予定していた内容・集客ができず、ロコミでの小規模開催（2回）となってしまった。次年度は、計画したワークショップ兼交流イベント、フィードバックの実施を行っていきたい。</p>		
今後の展望	<p>1. 普及・コミュニティの場づくりの実施</p> <p>本年度実施できなかった福祉ダイヤリーワークショップ兼交流イベントを5月下旬以降に実施予定（10~15名対象／1~2回予定）。また、団体が出店・主催イベント、SNSを通しての継続したアンケート調査・普及活動を実施することで、資料のブラッシュアップを図る。</p> <p>2. インターネットから福祉ダイヤリーを無料ダウンロードの実施</p> <p>場所関係なく気軽に利用できる環境づくりと、自治体や福祉事業所に印刷物やチラシを置かせてもらうことで、福祉ダイヤリーの利用や相談できる場（イベント等）を年1~2回開催していきたい。</p>		
活動の様子が分かる画像 2枚程度添付			